



# やあ!

1999  
MARCH  
No.60

3

市町村文化財紹介  
芳賀町

般若寺跡石塔付墓誌銘板

820（弘仁11）年建立の「宝幢山悲願院般若寺」は、弘法大師が草分けの真言宗の寺。1902（明治35）年、火災により消失したが、石塔群は残った。

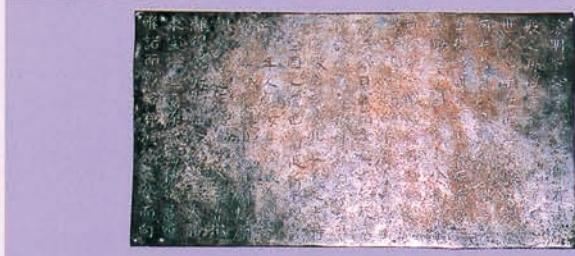
徳川家治（10代将軍）、田安宗武（8代将軍吉宗の子）供養塔は、家治の養女種姫の建立で、共に葵の紋を刻んでいる。

家治塔の外にあった墓誌銘銅板（1788年＝天明8年銘）は、表裏に種姫が家治の遺命を受け、これらの供養塔が般若寺に建立される模様が書かれている。（現在、銘板は、町が別保管としている。）

Memorial Towers and Epitaph Carved on a Sheet of Copper  
(Prefectural Cultural Properties)

"Hoshozan Higan-in Hannya-ji" was constructed in 820 (Konin 11) as a Shingon Sect of Buddhist temple, which was founded by Kobo Daishi (Buddhist priest of the early Heian Era). Later, memorial towers erected for Ieharu Tokugawa (10th Shogunate) and Munetake Tayasu (a son of the 8th Shogunate, Yoshimune) was built by Tanehime: daughter of Munetake, later adopted by Ieharu. These towers are both significant because a hollyhock crest (of the Tokugawa family) is engraved upon them. Outside of Ieharu's Memorial Tower, there previously was an epitaph carved on a sheet of copper which detailed Ieharu's wishes (the construction of these memorials at Hannya-ji) to Tanehime.

The temple was burned down in 1902 (the 35th year of the Meiji Era). Therefore, only these memorial towers remain in this location and the town has the copper stored in a separate location today.



特集

## プロトコール（国際儀礼）

- ◆ ようこそとちぎへ 南米から日系高校生が来県
- ◆ 国際交流団体紹介 日中アド・ワールド
- ◆ トピックス フランス・ヴォークリューズ県に高校生が出発  
浙江省から友好交流員が帰国  
中国語漢詩講座開催
- ◆ JETコーナー サンドラ・リーさん
- ◆ インフォメーション 日本語講座開講

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia>

# TOPICS

## フランス・ヴォークリューズ県に高校生が出発

栃木県とフランス・ヴォークリューズ県とで相互に高校生を派遣する「栃木県日仏青少年短期研修事業」で、今年度の派遣高校生が3月10日にフランスに向けて出発した。一行は約2週間フランスに滞在し、ヴォークリューズ県内の高校で体験通学などを行う。〔団長：高嶋仙子（（財）栃木県国際交流協会）／団員：大野温美（大田原女子高校2年）、善林里奈（今市高校2年）、中川稔朗（栃木南高校2年）、塚本綾乃（宇都宮海星女子学院高校2年）、星野暁子（鹿沼高校2年）〕



▲左から塚本、大野、善林、ひとりおいて  
中川、星野、高嶋。中央は小菅栃木県副知事。

## 中国語漢詩講座開催

TIAでは、2月から3月にかけて計5回、漢詩講座を開催した。この講座は、漢詩を中国語で読み、音韻の美しさや楽しさを知りたいことを目的として開催したもの。講座には毎回約50名の県民が集まり、熱心に授業に参加していた。



## 浙江省から友好交流員が帰国



▲大橋花子さん（大平町在住）写真 右  
大久保みさ子さん（鹿沼市在住）写真 左

「友好交流員」として、平成10年9月に中国・浙江大学に派遣された3名のうち、2名が帰国した。この「友好交流員」の派遣は、栃木県が平成6年度から毎年実施しているもの。浙江省での生活を終えて帰国したお2人にインタビューした。

—— 大学ではどのような勉強をなさったのですか。

大久保・大橋：主に中国語の勉強です。外国人留学生のための語学コースで授業を受けていました。

大久保：私のいたクラスは中級で、アジア人は韓国人と日本人くらい。あとはベルギーとか、オーストラリアとか、ドイツからの留学生がいました。クラスの人数は20人くらいでしたね。

大橋：私は初級クラスだったせいか、日本人がとても多くて。でもオーストラリアの人とかもいましたけど。

大久保：オーストラリアとか、ベルギーとか、漢字文化と無縁の国から来た留学生のほうが日本人より中国語の出来がよかったです。言葉を文字からではなく音で捉えていくので、言葉の覚えが早い。

—— 日本の情報などはありましたか？  
大久保・大橋：ニュースという意味ではなく入らなかったですね。

大久保：でも、週に1回、土曜日の午前中なんですが、ラジオで日本の音楽を流す番組を放送していて、演歌からポップスまで幅広く流しているんです。ただ、ポケモンのテーマが流れてきた時にはさすがにびっくりしましたけど。

大橋：日本のドラマもテレビで見ますが、「妹よ」とか「男女7人～」とか、けっこう古いものが放送されていました。でも、そうしたトレンドドラマの影響か、キムタクが人気で、洋服屋などにポスターが貼ってあることがありました。あと、テレビで「日本の若者ベスト10」みたいな番組を放送していて、サザンオールスターズや福山雅治が紹介されたり。

—— 今後のご予定は。

大橋：日本で就職活動です。

大久保：実は私、自費でもう半年、中国に留学することにしたんです。頑張って勉強してきます。



▲派遣直後の9月、留学生仲間と西湖畔にて。栃木県派遣友好交流員：前列中央長谷川さん、後列左から3人目大橋さん、右端大久保さん（写真提供 大橋さん）

## 知ってて得する なんでもQ&A

### 【国際免許証の取得について】

最近、海外へ旅行なさる方々の中に、レンタカーを借りて自由に現地で動き回り、滞在を楽しみたいという理由から、国際免許証の取得を希望なさる方が増えているようです。そこで今回は、国際運転免許証の取得についてご説明します。

手続きを始める前に、まず、現在お持ちの運転免許証の記載事項が正しいかどうか

を確認してください（住所等含む）。記載事項に違う点がある場合は、その違う部分を正しいものに変更してから国際運転免許証の取得申請をすることになります。なお、渡航中に日本の運転免許証の有効期限が切れないことが、国際運転免許証の発行条件となります。栃木県公安委員会発行の運転免許証の場合は、手続きが行えるのは鹿沼市にある栃木県運転免許センターのみです。

#### 【手続きに必要なもの】

1. パスポート

2. 印鑑

3. 2,700円

4. 5×4 cmの写真

窓口は午前8:30~11:00、午後1:00~3:00です。所要時間は40分程度です。



## 南米から日系高校生が来県

栃木県から南米各国に移住した日本人の子弟を栃木県に招待し、祖先の育った日本の文化や習慣に触れてもらう「栃木県南米移住者子弟短期研修生受入事業」が1999年1月27日から2月15日まで実施された。この移住者子弟短期研修事業は平成2年度から毎年この時期に実施されている。

今回来日したのは、ブラジル・サンパウロ市のケリー・コムロさん、リカルド・サトシ・オリベイラさん、ブリシラ・ヨー

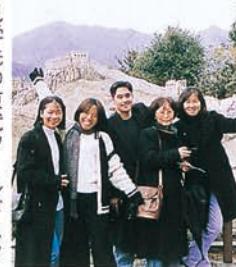


▲益子焼きろくろ体験教室

コ・シノダさんと、パラグアイ・イタブア県のマルタ・マユミ・ササヌマさん、ペルー・リマ市のウルスラ・スター・トヨフク・アライさんの計5名。また、県費留学生として宇都宮大学に留学経験のあるエニイ・カナコ・ミヤシロさん（ペルー栃木県人会）が団長として来日した。

一行は、宇都宮市内の施設や日光見学、県内在住の親族宅でのホームステイのほか、県立鹿沼高校での体験通学や高校生宅でのホームステイなどを行った。また、東京見学や益子町でろくろ体験をするなど様々なプログラムに参加した。

▶見学先の東武ワールドスクエアにて



団長のミヤシロさん以外は日本に来るのは初めてとあって、「いちいち建物の中に入るたびに靴を脱ぐので驚いた。」「とにかく寒い！」等、生まれ育った南米各国とは違う面に戸惑う人がいる一方で、「日本に生きてきたかった。」とすっかり日本に溶け込む高校生もいた。

3週間の研修の感想を聞くと、「ブラジルではできないスキーができたよかったです。」



◀前列 左から二人目 リカルド君、三人目 ケリーさん、後列 左から ウルスラさん、ブリシラさん、マルタさん、ミヤシロさん

「おじいちゃん、おばあちゃんの生まれ育ったところが見られてうれしかった。県立博物館では、おじいちゃんたちが子供のころ、どういう生活をしていたかを見ることがて興味深かった。」「日本の高校に友達がたくさんできた。友達と撮ったプリクラは宝物。」などを挙げていた。

帰国前夜の送別会では、ホストファミリーや高校生たちと別れを惜しみ、閉会後もいつまでも名残を惜しむ姿が見られた。



▲送別会では、鹿沼高校生と「愛のしるし」を大熱唱

国際協力」の肉声を紹介する。（時事通信社編・発行／1,456円+税）

### ●ユニセフの開発のための教育～地球市民を育てるための実戦ガイドブック

貧困・人口増加・環境破壊の悪循環や紛争などが地球的規模で拡大している現在、自由な社会で責任ある市民として生きられる子供を育てる教育が求められている。この本では、子供たちが頭で理解するだけでなく、体験により理解を深め、実感する中から、広い視野を養うことができるような体験学習の方法を紹介している。（（財）日本ユニセフ協会発行）

### ●国際協力クイズCD-ROM

このCD-ROMは、国際協力に関するクイズを通じて、一般の人たちに楽しみながら国際協力について学んでもらおうとい

うもの。



CR-ROM No.1は一問一答形式。ODA・国際機関・謎・草の根・プラザの5つのコースに分かれています。各コースで12問ずつの問題が用意されています。各問題に正解した場合、画面上のくす玉が割れて○印が現れ、はずれた場合は大きな×印が「はずれ」の文字とともに現れます。No.2は、国際協力ハイバーマンという正義のヒーローが、侵略者「野菜星人」の出す国際協力クイズを解くことで地球を守るというもの。クイズに正解できないと、野菜星人が発射する「国際協力おしおき光線」でハイバーマンはやられてしまう。正解を続ければ野菜星人の宇宙母船オーデンと戦う画面に進むことができる。（（財）国際協力推進協会制作）

今回紹介した図書等は、ライブラリーの中の国際協力プラザコーナーにあります。

## ■TIAライブラリー案内 ■

（貸出のお問い合わせはTIAまで）

### ●異文化との接点で

近年、日本人による国際協力、海外ボランティアが活発になっている。国際協力事業団(JICA)を通じて海外援助に赴く専門家、同じくJICAから派遣される青年海外協力隊員、そして、三百以上の非政府組織(NGO)が展開するさまざまな活動など。立場や活動内容は違っても、異文化に飛び込み、活動を模索し、喜び、悩む生身の人間であることには変わりない。本書は、世界48カ国で国際協力活動を行う60人の日本人の手記を集することにより、組織や地位を越えた「ひとりひとりの



# プロトコール（国際儀礼）

## リポート

TIA設立10周年記念

### とちぎ国際セミナー

国際人としてのマナーやエチケットを広く学ぶ「とちぎ国際セミナー」がTIAと日本外交協会との共催で、3回にわたり開催された。



第1回講師  
杉田 明子氏

平成11年1月19日（火）に開催された第1回のセミナーでは、外務省国内広報課・課長補佐の杉田明子氏を講師に、「国際交流と国際儀礼」と題した講演が行われた。外務省儀典官室で6年間の勤務経験がある杉

田氏は、国際儀礼（プロトコール）の4つの基本「序列」「右側上位の原則」「相互主義」「各國各地方の習慣の尊重」を実例などを交えながら説明。他に、ニュースにはならない各国大使の扱いや、宮中晩餐会の進め方などについても触れた。

第2回・第3回のセミナーの講師は、国際ビジネス・プロトコールのための企業研修を行う(有)インターリンク代表取締役の鈴木ひろ子氏。



第2・3回講師  
鈴木ひろ子氏

1月26日（火）開催の第2回のセミナーでは、「より良い人間関係を築く国際マナー」をテーマに、異文化の人と信頼関係を築くための構えや国際マナーの基本などを、チェックシートを使って解説した。

## 人間関係

1. 男性は、職場でもレディー・ファーストを実践するべきである。
2. 相手の名前や肩書を忘れた場合、間違つて第三者に紹介するのは失礼にあたるので紹介しないでおいたほうがよい。
3. 海外の取引先の商談担当が女性の場合、男性から握手を求めるのは失礼なので、手を差し出さない。
4. 外国の方々も参加するパーティー等に上司と同行する場合、部下は常に上司の傍らに控え、テーブルでも隣の席につく。
5. 海外から配偶者同伴で来ている男性の取引相手を夕食に招待した際、日本側出席者が男性のみであり、大切な仕事の話があるので、夫人は招待しなかった。

仕事の上では男女平等が原則。名前等を忘れたら、無視する（紹介しない）前に本人に確認するとよい。自分で自分のことをするのは当たり前、パーティーの席で上司の面倒を見る必要はない。配偶者同伴で来た人の場合は配偶者も同伴させるか、配偶者用に別なプログラムを組むとよい。子供まで会議の席上に同伴する国もある。

答：①×、②×、③×、④×、⑤×

## プロトコール（儀礼）

1. 中級レストランに招待してくれた人にお返しをする場合、より高級なレストランに招待するのが礼儀である。
2. 訪問客を迎える時は、双方の性別にかかわらず、迎える方は立ち上がって挨拶するのがマナーにかなっている。
3. 個人宅でのカクテルパーティーの招待状に from 6:00 p.m. to 9:00 p.m. と記されていたら 6 時少し前に到着するのが礼儀である。
4. 博士号(Ph.D)を持つ相手への手紙の宛名は次のように記す。

Dr. Arnold Schwarzenegger, Ph.D

5. フォーマルディナーでの主賓の席はホストの右側が正式である。

プロトコールの4原則（リポート参照）に則ってもてなしをする（「相互主義」「右側上位」）。個人宅でのパーティーの場合、招く側に余裕を与えるため、多少（15分くらい）遅れていくとよい（FASCIONABLY LATE）。ただし、公式のパーティーなどは時間通りに行くこと。敬称は二つ並べて書かない。

答：①×、②○、③×、④×、⑤○

## コミュニケーション

1. 既婚か未婚かわからない女性に英文レターを出す場合、敬称は「Miss」にする。
2. 外国人とのビジネスで通訳がいる場合、下手な外国語で挨拶するより、日本語だけで通すほうが良い印象を与える。
3. 外国人とのビジネスでは、親しみを表現するために、初対面から相手をファーストネームで呼ぶとよい。
4. 健康問題は誰でも関心があるので、個人の病気の話は会話のきっかけとして好まれる。
5. 英文ビジネスレターで、いきなり用件に入るのは失礼にあたるので、必ず時候の挨拶や個人的な近況報告から書きはじめる。

英文レターの場合、未婚既婚を問わずに使えるMs. という敬称が存在する。通訳がいても相手の国の言葉を話そうという姿勢が見えた方が良い印象を与える。初対面からファーストネームで呼ぶのは失礼。健康問題は気にする人が多いので話題としてはふさわしくない。ビジネスレターは簡潔に用件を記す方がよい。

答：①×、②×、③×、④×、⑤×

# ～国際マナーとエチケット～

## 接待・社交・ギフト

- 海外出張の際の訪問先への手土産は、自社のイメージアップにつながるよう、できるだけ高価な品を持参する。
  - 食事中にやむなく席を立つ場合、食事が終わったと思われないよう、ナプキンは無造作にテーブルの上に置き、椅子は後に引いたままにする。
  - テーブルに灰皿が置いてあれば会食のコースの合間に隣の人に断らずに喫煙してもよい。
  - 日本と違い、西洋式の乾杯は、宴会の最初ではなく、デザートの前後に行うのが最も一般的である。
  - リセプションとはカクテルパーティーをフォーマルに行う時の呼び名である。高価なものは賄賂と受け取られる。食事中に中座する場合は、ナプキンは椅子の上、椅子は戻しておく。食事中は禁煙、食後に喫煙するときもひとこと断ってから。
- 答：①×、②×、③×、④○、⑤○

## 服装・ものごし

- パーティーの服装の決まりとしては、ブラックタイの方がホワイトタイよりもフォーマルとされる。
  - 上司・顧客・取引相手の前では、男女ともジャケットを着用するのが礼儀。特にダブルのジャケットのボタンは常にとめておく方がよい。
  - 知人の葬儀に参列する際、黒い服を着用するのは世界共通である。
  - 外国人家庭で開かれるパーティーの招待状に「平服でお越しください」とあったので、ホストに聞くまでもなく、スラックスとスポーツシャツで出かけた。
  - 夜のビジネスパーティーでは、男性は黒の上下（日本の礼服）が好ましい。
- ブラックタイよりもホワイトタイの方がフォーマル。葬儀参列の服の色は国により白やグレーなど様々。黒が正装とは限らない。パーティー出席の服装に迷ったらホストに聞く。答：①×、②○、③×、④×、⑤×

## 文化・情報

- 有田焼は日本六古窯の一つである。
  - 外国人のジェスチャーには日本人のジェスチャーと形態や意味の異なるものが多くあるが、人差し指で軽く鼻をたたくジェスチャーは、英国では「秘密」を表す。
  - 喪中のキリスト教徒にはクリスマスカードは出すべきではない。
  - ユダヤ教にはクリスマスはないので、ユダヤ教徒のビジネス相手や友人には、クリスマスカードではなく、新年のグリーティングカードを送るようにする。
  - 一般的に、ヒンズー教徒は牛肉、イスラム教徒とユダヤ教徒は豚肉及びその加工品が宗教上の食べ物のタブーである。母国の文化に何かひとつでもよいから造詣があるとよい。外国人の人をもてなす場合、ある程度のことを知っていないと失礼にあたることがあるので注意。
- 答：①×、②○、③×、④○、⑤○

以上6部門5問ずつの問題は、第2回セミナーで講師が使用したものです。

## 日本人にありがちな失敗談



# JETコーナー

外国語指導助手  
サン德拉・リーさん  
(アメリカ出身)

人生には思いがけない事がたくさんおこります。わたしが、田んぼに囲まれた小さな畠の部屋のアパートを第2の故郷にするなどと誰が想像できたでしょうか。来日当初、台所でふと我に返った時、安堵というもののからはほど遠く、一人ぼちであることに戸惑いを覚えましたが、23歳にしてようやく両親から独立し、期待に胸が膨らんでいました。

こんにちはみなさん。わたしはサン德拉・リー、3年目のJETで佐野松陽高校のALTをしています。佐野はご存じのとおり、関東きってのラーメン激戦区です。と、わたしの同僚である先生方がしゃつちゅうわたしに言っています。ベジタリアンであるわたしはラーメンを食べませんが、故郷のテキサス州ヒューストンに帰れば、



きっとあの独特的なラーメン屋さんの匂いが恋しくなるでしょう。

わたしの故郷ヒューストンは、カーボイ、スパイクの効いた食事、そして何といつてもあの宇宙開発事業を行っているナサ(NASA)の本拠地です。

とにかく、任期が終わりに近づいている現在、過去2~3年間のわたしの生活の一部であったものを置いていかなくてはならないという現実への遭遇に精神的に立ち向かえるよう準備しています。ここ日本で、最高の時と最悪の時を過ごしたぶんだけ、この生活は離れがたいものとなるでしょう。ここで経験した思い出は、全て胸に刻んで帰ります。スーパーまでの長い道のりや、目に入る人すべてにお辞儀をしたこと、生徒からの挨拶や畠の匂い、近所の人といろいろな手段を使ってのコミュニケーションなどをきっと懐かしく思うでしょう。

人生には思いがけないことがたくさん起きます。この魅了せんばかりの文化を経験するなかで、素晴らしい発見がありました。

Sandra Lee

Life is full of surprises. Who knew my home away from home would be a small, tatami-floored apartment in the middle of green rice fields. As I stood in my kitchen for the very first time, I realized I was on my own, away from comfort and security. I was 23 years-

old and finally declared independence from my parents. It was pretty exciting. Hello, everyone. My name's Sandra Lee and I'm an ALT at Sano Shoyo High School in Sano, completing my 3rd year on the JET Programme. Yes, my town, too, is famous for something; And that something happens to be the best ramen noodles in all of Kanto plain. Well at least that's what my teachers constantly tell me. Although I don't eat the stuff, being a veggie eater only, I'm sure I'll crave for the aroma of a ramen shop once I return to my home in Houston, TX. By the way, Houston is famous for cowboys, spicy, spicy cuisines and is the home to NASA, our cool space program. Anyway, I'm trying to prepare myself, emotionally that is, to leave behind what's been a part of my life for the past several years. I've experienced the best of times and the worst right here in Japan, so it'll be tough to let go. However, I'll take all the memories back with me. I'm sure going to miss the long walks to the market, bowing at everything in sight, the cheers of my students, smell of tatami, using all sorts of ways to communicate with the neighbors and so much more. Life is full of surprises. What a wonderful surprise it has been to be apart of such a fascinating culture.

(日本文は要約文)

## 国際交流団体紹介

### 日中アド・ワールド

宇宙を視野に入れ物事を判断する時代に突入し、楽しい期待が膨らんでくる。宇宙人はいるのかな？ 宇宙語はあるのかな？ 好奇心旺盛な会員と話が弾む。地球の一員として、ささやかな国際理解を踏み出した私たちは、お隣、中国の漢字文化に着目した。漢字で理解を深めることはたやすいのではないかと考え、中国語に取り組みはじめた。標準語に近いとされる北京近郊では何とか会話は聞き取れるが、上海ではお手上げ。読みの甘さを思い知らされている。しかし、補ってあまりある行動力で語学力不足をカバーしながら、大胆に地球探索を続けている。

留学生や研修生と交流し、共にアドバイスしあいながら世界に発信しようと名付けた「アド・ワールド」の活動も、現在は出張教室を開催するまでになっている。各教室とも10名を越えないクラス編成をしているが、悩みは、上級者と中級・初級者の扱いで、全員が満足するとはいかない点に苦慮している。あくまでも、交流と国際理解というところで納得していただいているが、目的意識が違うと続けていくことが難しい。60年前に学習したという新会員が一番話せるといった現象までおこっている。同時に、「簡単にできる外国の家庭料理」教室へのリクエストも多く、再度計画中である。生涯学習のなかの国際理解であると考え、こちらも継続していきたい。

1998年は、5月に長江を船で下り、楊州の結婚式に招待され、8月は西安・ハルビン・北京・上海を巡り、12月にはシンガポールへと足をのばした。80%華僑といわれるシンガポールで中国語が通じたことが、最大の喜びであった。

1995年8月杭州から上海までの車中で国際交流をしようと提案され、98年には西湖

畔の友誼碑に記念の文字を刻んできたことなど、丁寧にお知らせをしてくださる福井県知事栗田幸雄氏や、ナホトカ号重油流失時に情報交換をした春江町女性団体の皆さんとの交流も続けていきたい。

「やさしい中国語学習」又は「簡単にできる外国の家庭料理」教室への参加をご希望の方は、毎週土曜日、午後5時半から宇都宮東公民館で開催しておりますので、ご連絡ください。(代表 内田葉子TEL028-661-8095/事務局 平田とみ子TEL028-652-6528 Eメールアドレス uchida@yomogi.or.jp)



▲宇都宮大学国際学部学生(日中アド・ワールド中国語講師)の実家にて

# 情報発信 地域の国際交流案内

★教員のための米・英・豪・欧州における英語／社会研修講座参加者募集  
▶主催=国際教育交換協議会日本代表部▶参加費用=496,000円～（参加コースにより異なる）往復航空運賃／研修費用／研修期間中の滞在費を含む▶期間=7月下旬より2週間から4週間（参加コースにより異なる）▶研修地=アメリカ／イギリス／オーストラリア／オランダ／アイルランド▶参加資格=1999年4月30日現在63歳以下の教員・教員退職者及び教育委員会の指導主事▶応募締切=1999年4月30日▶内容=①英語研修講座：欧米豪の大学における集中英語研修のため、参加対象者は中学校及び高等学校の英語担当教諭。全8コース。②社会研修講座：欧米豪の大学における集中研修で英語力は問わない。小学校教員及び中学校・高等学校の英語以外の教科担当教員対象。▶資料請求及び問い合わせ先=国際教育交換協議会日本代表部国際交流事業部 TEL03-5467-5502（月曜～金曜9:30～17:30）〒150-8355 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山ギャラリー1フロア

★Let's Talk Frankly!「本音で語ろう」発刊  
栃木県内在住の外国人及び日本人のボランティアにより、1988年に「ザ・東北線」として創刊され、1994年に「栃木タイムズ」と改称された英文情報誌が、創刊10周年、第100号を達成したことを記念し、過去の

記事の抜粋に書き下ろしの原稿を加え、日本語訳付きで記念号を発刊した。A4、100ページで額面価格2000円。▶問い合わせ先=栃木タイムズ（非営利団体）代表 鈴木美恵子 TEL028-622-1066

## ★中学生・高校生のための国連協会夏期海外研修

▶企画=財団日本国際連合協会 ▶旅行主催=日本通運株旅行事業部 ▶内容=①オックスフォード英語研修とドミトリーステイ19日間（1999年7月31日～8月18日）②イギリス英語研修とホームステイ体験19日間（1999年7月24日～8月11日）③サンディエゴ英語研修とホームステイ体験17日間（1999年7月25日～8月10日）④カナダ英語研修とホームステイ体験18日間（1999年7月26日～8月12日）⑤オーストラリア英語研修とホームステイ体験14日間（1999年7月25日～8月7日）▶問い合わせ先=日本通運株東京旅行支店 SIT部 SIT企画課TEL03-5983-0150（担当：小柳）〒161-0033東京都新宿区下落合2-3-18 SKビル5階

## ★MSFフォトジャーナリスト賞募集

▶主催=MSF（国境なき医師団）日本 ▶応募資格=20～30歳のフォトジャーナリストを志す方 ▶テーマ=①看護婦②経済不況③農村の人々 ▶内容=3つのテーマの中からひとつを選び、写真20点と2000字以内の文章でルポルタージュを作成する。（写真はモノクロまたはカラーのプリントで六ツ切-8×10インチ。カラーの場合はポジフィルムも可。）▶締切=1999年5月5日（当日消印有効）▶1999年審査委員長=田沼武能（日本写真家協会会長）▶問い合わせ先=国境なき医師団日本 TEL03-3366-8571 FAX03-3366-8573 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-28-1 ▶その他=受賞者には MSFの医師団が派遣されてい

る現地で2～4週間程度の取材を行ってもらう。

## ★浙江省長杯争奪中国ゲートボール親善観光の旅

▶主催=JTB宇都宮支店 ▶募集人員=80名 ▶旅行代金=219,000円（渡航手続料金、査証取得代行料、1人部屋使用追加料金は別途）▶期間=1999年6月13日～18日（大会開催日は6月15日）▶問い合わせ先=宇都宮新聞旅行センター TEL028-625-0800 〒320-0032 宇都宮市昭和1-8-11

## TIA日誌

1999年1月1日～1999年2月28日

- 1/12 日仏青少年短期研修事業第1回研修会（センター）  
1/19 第1回とちぎ国際セミナー（センター）  
1/20 日仏青少年短期研修事業第2回研修会（センター）  
1/24 国連英検2次試験（センター）  
1/26 第2回とちぎ国際セミナー（センター）  
1/27 栃木県南米移住者子弟短期研修生受入（～2/15）  
2/2 第3回とちぎ国際セミナー（センター）  
2/9 中国漢詩文化講座開講（～3/16センター）  
2/10 県費留学生・海外技術研修員・南米移住者子弟短期研修生スキー研修（～2/12 日光湯元）  
2/18 日仏青少年短期研修事業第3回研修会（センター）  
2/27 日仏青少年短期研修事業第4回研修会（センター）

夢をかたちに  
心に残るウェディング

99春・秋のご婚礼予約承り中

婚礼・宴会・会議・宿泊・レストラン・ラウンジ

PK フラサ イン・くろかけ

〒320-0043 宇都宮市桜4丁目1番19号  
TEL 028-622-1981 FAX 028-627-9195

印刷からビデオ制作まで



必要なときに必要なだけ オンデマンドカラー印刷

インターネットのホームページ制作は当社へ！

株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

〒321-0904宇都宮市陽東5丁目9番21号  
TEL 028-662-2511(代) FAX 028-662-4278  
URL: http://www.pto.co.jp/ E-Mail: pto2@mx1.alpha-web.ne.jp

# TIA Information Corner

## ★日本語講座 4月開講

▶期間=4月10日～9月25日。毎週土曜日  
14:00～16:00 ▶対象=在県外国人 ▶場所=とちぎ国際交流センター会議室 ▶受講料=無料（ただしテキスト代等は実費）  
▶申し込み及び問い合わせ先=TIA日本語講座係 TEL028-621-0777

## ★ JAPANESE LANGUAGE CLASS REGISTRATION, beginning in APRIL

▶Date: Every Saturday, 14:00 ~ 16:00, from April 3 to September 25.

▶Participants: Prefectural foreign residents

▶Location: Meeting room of the Tochigi International Center

▶Tuition: Free (students have to purchase study materials).

\*For more information, call TIA at 028-621-0777.

## ★ JICA高校生エッセイコンテスト'99 募集

▶募集テーマ=開発途上国や国際協力について考えていること。例「国際協力について見たこと、聞いたこと」「自分の参加した開発途上国に対するボランティア活動」「国際社会における日本の役割」▶募集規定=本文400字詰原稿用紙(A4サイズ)4枚以内。別添400字詰原稿用紙(A4サイズ)1枚に、住所(郵便番号)、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢、性別、学校名、学年、海外渡航経験の有無、どのようにしてコンテストを知ったかを明記。作品は未発表のものに限り、著作権はJICAに帰属するものとする。また、応募作品は返却しない

い。▶応募資格=平成11年4月現在高校生であること。▶募集期間=1999年1月8日から5月10日まで(当日消印有効)▶入選発表=平成11年7月中旬に入賞者に直接通知するほか、雑誌「国際協力」9月号誌上にて入選作品を発表予定。▶賞=特選4名:副賞として約10日間のトルコ研修旅行。準特選4名:副賞として約1週間のマレーシア研修旅行。審査員特別賞6名:副賞として2泊3日の国内研修旅行。上記以外にも各種賞を用意。▶応募及び問い合わせ先=JICA関東支部 TEL048-834-7770

## ★ JICA高校教師海外研修

国際協力事業団(JICA)では、教師に開発途上国の実情とJICA事業の現場を視察してもらい、理解を深めてもらう機会を設け、開発教育の研究・実践に役立ててもらうために海外研修を開催する。

▶参加資格(5項目を満たす方)=①高校の先生で、授業もしくはクラブ活動で開発教育・国際理解教育を実践されている方②海外研修に際し、健康上支障がなく、全行程参加可能な方③年齢50歳以下の方④所属する校長もしくは教頭の推薦が得られる方⑤研修後、JICAが実践する開発教育事業に協力可能な方▶募集締切=4月20日必着。選考結果は5月末日までに通知。▶研修国=栃木県はグループAのザンビア▶研修期間(予定)=事前研修:1999年7月26、27日の2日間。東京で開催。海外研修:1999年7月28日～8月8日。▶参加費用=約100,000円▶応募及び問い合わせ先=JICA関東支部 TEL048-834-7770  
〒336-0002埼玉県浦和市北浦和4-5-5北浦和大栄ビル7階

## ★ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー留学生オーディション

ロシアのサンクトペテルブルグにあるクラシックバレエ学校の最高峰「ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー」公認留学生オーディションが下記のとおり開催される。▶実施日=1999年7月10日(1次)、11日(2次。1次合格者のみ)。時間は後日主催者から指定される。▶実施会場=栃木県総合文化センターリハーサル室▶留学受入予定人数=10名以内▶留学期間=1999年9月1日～2000年6月30日(10ヵ月間)▶審査内容=バーレッスン、センター・レッスン等の実技。事前に健康診断書を提出のこと。▶参加資格=1979年1月1日～1982年12月31日までに生まれた者。在住地や国籍は問わない。▶参加料=10,000円納めた参加料の返金は不可。▶参加申込受付期間=1999年4月30日～5月28日(必着)▶申し込み及び問い合わせ先=栃木県総合文化センター企画事業課 TEL028-643-1010

## TIA賛助会員募集中!

賛助会員になっていただきますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等をお届けします。またテレビ方式変換ビデオ(海外→日本、日本→海外)をご利用できます。その他、会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使わせていただいており、地域の国際化のために役立っています。

